

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●秋期調査：平成 18 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日

●春期調査：平成 19 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 11 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリオットアソシアホテル

・ホテル 7 施設

東京第一ホテル錦、名古屋ガーデンパレス、ザ・ビー名古屋、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ナゴヤローレンホテル、名古屋笠寺ワシントンホテルプラザ、ホテルサンルートプラザ名古屋

・旅館 2 施設

つちやホテル、旅館 浅野屋

⑤調査件数

●秋 期：386 サンプル

●春 期：377 サンプル

●合 計：763 サンプル

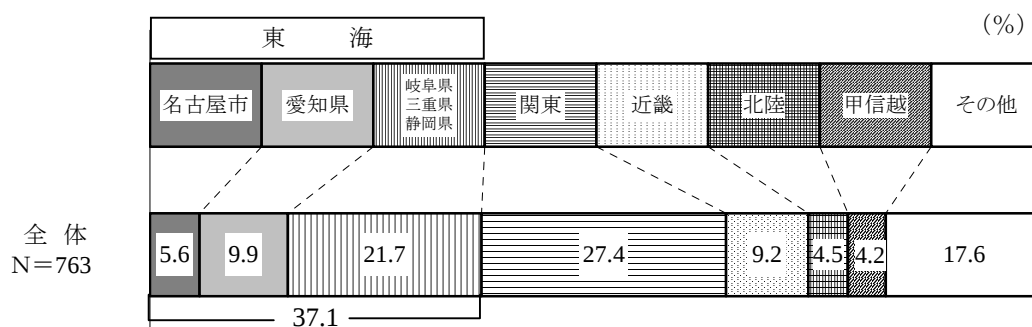
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 5.6%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 9.9%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 21.7%であり、合わせて「東海」地域が 37.1%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 27.4%と多く、「近畿」地域は 9.2%、「北陸」地域は 4.5%、「甲信越」地域は 4.2%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「20～29 歳」が 27.2%と最も多く、次いで、「30～39 歳」が 23.1%、「40～49 歳」(18.2%)、「50～59 歳」(17.3%) となっている。

性別は、男性が 51.2%、女性が 48.8%と、男性の方が女性よりやや多い。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 20 歳代～50 歳代に分散しているが、女性では「20～29 歳」(36.6%) の割合が多い。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
全 体	4.0	27.2	23.1	18.2	17.3	7.2	3.0	100.0
男 性	3.4	19.1	23.4	20.5	22.2	8.0	3.4	100.0
女 性	4.8	36.6	22.9	16.4	11.9	5.7	1.8	100.0

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(18.0%)や「ショッピング」(8.5%)、「観劇・コンサート」(8.3%)などの「観光・娯楽」が合わせて46.5%とほぼ半数を占めている。「商用・公用」は22.9%である。

昨年度と比べると、「観光・娯楽」の割合が4ポイント増加したが、一方、「商用・公用」の割合が9ポイント、「大会・会議に参加」が7ポイントそれぞれ減少している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が34.4%と比較的多い。女性では「観光・娯楽」(57.0%)の割合が過半数を占めている。

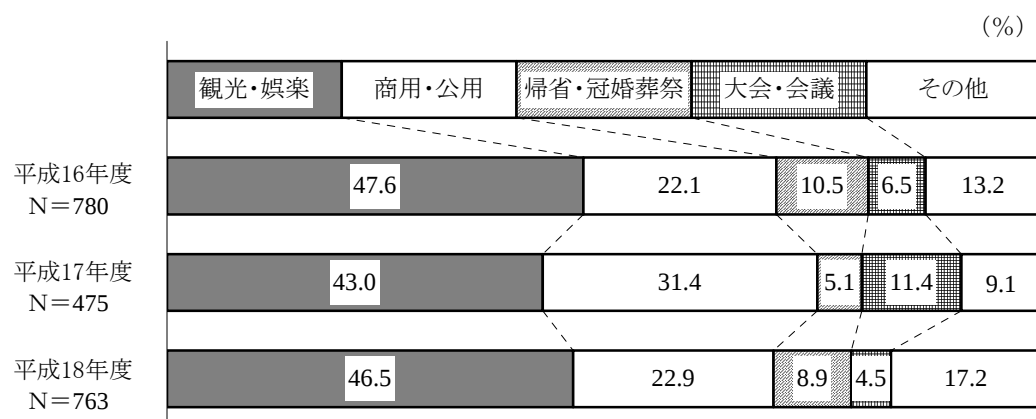


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

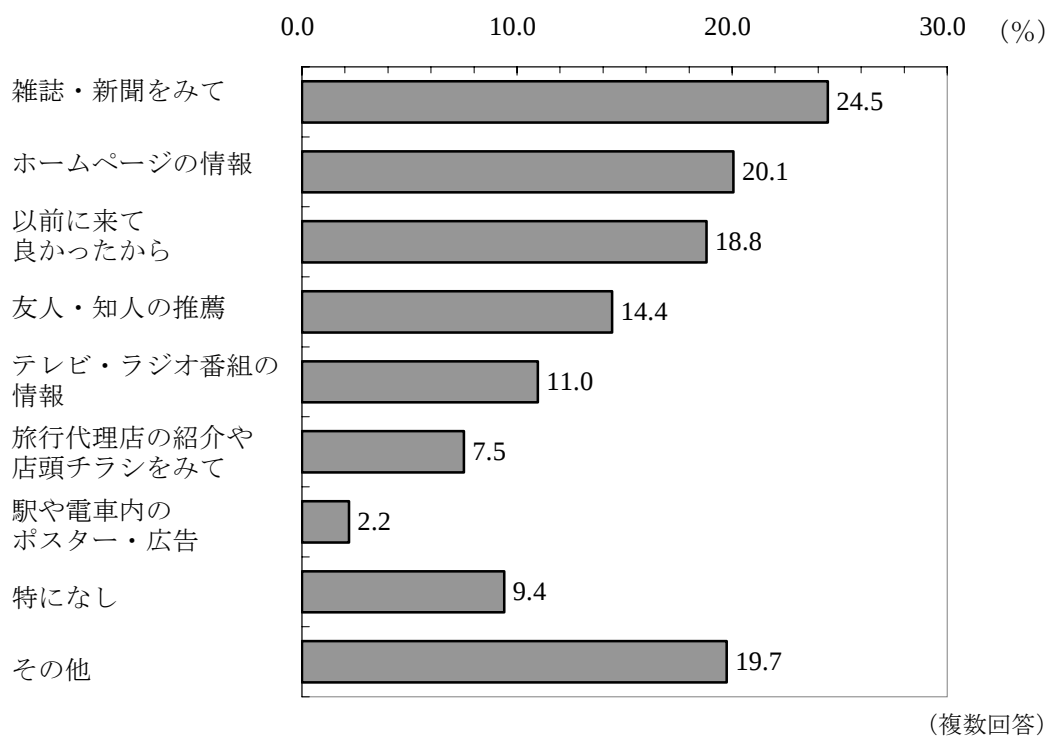
表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	16.3	6.6	4.6	4.3	4.6	2.9	34.4	6.3	5.2	14.9	100.0
女性	20.7	12.0	12.9	4.5	3.9	3.0	7.8	10.5	3.9	20.7	100.0
全体	18.0	8.5	8.3	4.4	4.4	2.9	22.9	8.9	4.5	17.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（351 人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「雑誌・新聞をみて」（24.5%）が最も多く、次いで「ホームページの情報」（20.1%）、「以前に来て良かったから」（18.8%）、「友人・知人の推薦」（14.4%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（11.0%）、「旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて」（7.5%）となっている。



(複数回答)

図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、763 人中 581 人（76.1%）であり、全体では「名古屋城」が 39.6%と最も多く、次いで「熱田神宮」（21.5%）、「名古屋港」（20.1%）、「東山動植物園」（17.3%）、「イタリア村」（16.6%）、「テレビ塔」（16.4%）、「名古屋港水族館」（15.6%）、「徳川美術館」（11.9%）となっている。

居住地別にみると、「東海」地域からの宿泊客では「名古屋城」（39.4%）をはじめ「名古屋港」（29.6%）、「東山動植物園」（26.6%）、「名古屋港水族館」（24.8%）、「熱田神宮」（24.1%）、「イタリア村」（24.1%）、「テレビ塔」（21.5%）などを訪れる割合が多い。一方、「東海」地域外からの宿泊客では「名古屋城」（40.2%）を訪れる割合がかなり高く、以下、「熱田神宮」（20.2%）、「名古屋港」（15.0%）、「テレビ塔」（13.8%）、「徳川美術館」（12.9%）、「イタリア村」（12.5%）、「東山動植物園」（12.1%）、「名古屋港水族館」（10.4%）と続いている。

宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 2.53 施設であり、昨年度（2.28 施設）と比べると、平均訪問施設数は 0.25 施設増えている。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	熱田神宮	白鳥庭園	ブルーボネット	徳川園	名古屋市博物館	市政資料館	文化のみち二葉館	徳川美術館	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館	東山動植物園	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港
東 海	39.4	24.1	5.1	3.6	9.9	6.9	1.8	1.8	10.6	8.8	8.4	6.9	26.6	5.8	24.8	29.6
東海外	40.2	20.2	1.9	0.4	8.8	1.5	0.2	0.4	12.9	3.3	2.5	3.5	12.1	3.3	10.4	15.0
全 体	39.6	21.5	3.0	1.7	9.2	3.4	0.8	0.9	11.9	5.2	4.6	4.7	17.3	4.2	15.6	20.1

訪問施設 地 域	名古屋科学館	でんきの科学館	名古屋能楽堂	名古屋市農業センター	有松・鳴海絞会館	産業技術記念館	ノリタケの森	東谷山フルーツパーク	農業文化園・戸田川緑地	シートレインランド	イタリア村	東山スカイタワー	テレビ塔	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	9.5	8.4	1.1	0.7	2.6	2.2	8.4	5.8	1.5	4.4	24.1	12.4	21.5	19.0	19.3	3.36
東海外	1.9	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	6.7	0.4	0.2	1.3	12.5	4.0	13.8	27.5	25.4	2.09
全 体	4.6	3.4	1.0	0.4	1.6	1.8	7.2	2.4	0.7	2.4	16.6	6.9	16.4	24.1	23.9	2.53

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / （全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」(32.0%)と「ひとり」(30.2%)が多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(14.6%)など合わせて31.0%である。

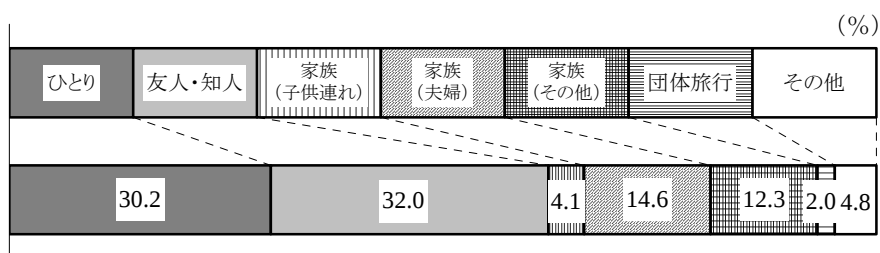


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は全体では 13.6%であり、居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では 40.8%が利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

旅行形態		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
地 域				
東 海		6.6	93.4	100.0
	名古屋市	4.9	95.1	100.0
	愛知県(名古屋市を除く)	7.1	92.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	6.8	93.2	100.0
関 東		10.1	89.9	100.0
近 畿		6.3	93.7	100.0
北 陸		16.1	83.9	100.0
甲信越		0.0	100.0	100.0
その他		40.8	59.2	100.0
全 体		13.6	86.4	100.0

③旅行費用

α. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は「10,000～30,000 円未満」が 46.3%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(23.0%)、「50,000 円以上」(15.7%)、「5,000～10,000 円未満」(11.6%)となっている。

居住地別にみると、30,000 円以上(「30,000～50,000 円未満」と「50,000 円以上」)を合わせた割合は「その他」の地域からの宿泊客では 79.9%を占め、「北陸」地域(同 50.0%)、「関東」地域(同 41.7%)では 4～5 割となっており、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 31,153 円であり、昨年度(29,453 円)と比較して 1,700 円の増額となっている。

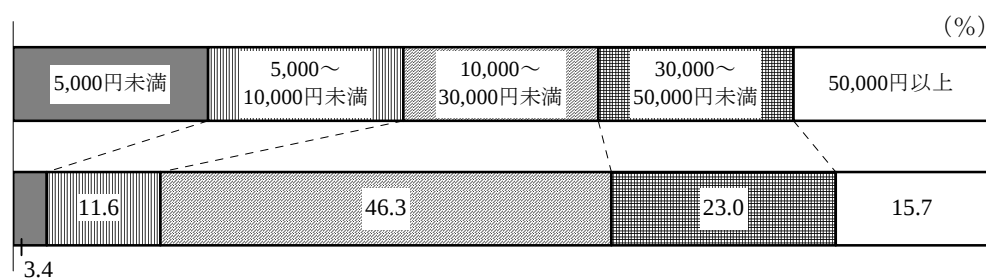


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位 : %)

旅行予算 地 域	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海	6.6	19.5	54.1	14.8	5.1	100.0	22,150
名古屋市	17.1	22.0	41.5	14.6	4.9	100.0	19,878
愛知県(名古屋市を除く)	7.4	25.0	50.0	17.6	0.0	100.0	19,118
岐阜県・三重県・静岡県	3.4	16.2	59.5	13.5	7.4	100.0	24,172
関 東	3.3	8.3	46.7	26.7	15.0	100.0	31,958
近 畿	0.0	6.5	62.9	22.6	8.1	100.0	28,145
北 陸	0.0	9.4	40.6	25.0	25.0	100.0	37,578
甲信越	0.0	16.7	56.7	16.7	10.0	100.0	26,750
その他	0.0	2.5	17.6	37.0	42.9	100.0	50,651
全 体	3.4	11.6	46.3	23.0	15.7	100.0	31,153

注 : 平均額の計算式 : $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000～50,000 円未満」の回答者数}) + (75,000 \text{ 円}) \times (\text{「50,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」が 30.2%と最も多く、以下「20,000～30,000 円未満」(25.3%)、「30,000～50,000 円未満」(21.4%)、「50,000 円以上」(10.1%)、「5,000～10,000 円未満」(9.6%)となっており、平均額は 24,223 円である。

居住地別に平均額をみると、愛知県内からの宿泊客に比べて、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客や「東海」地域外からの宿泊客では 25,000 円前後となっていて、消費額は高額となっている。

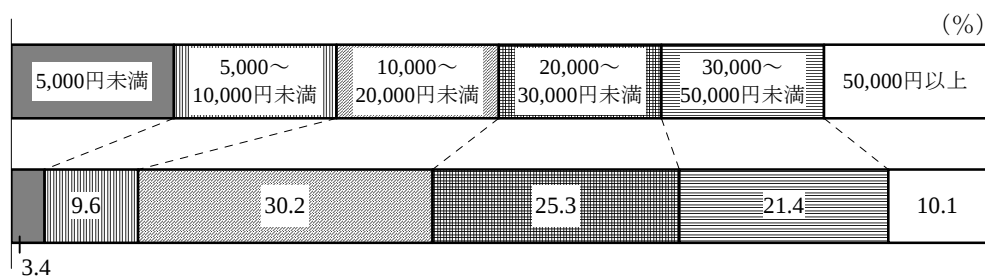


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算（居住地別）

(単位：%)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地 域	東 海	2.6	10.7	29.9	25.6	19.7	11.5	100.0	22,987
	名古屋市	2.6	21.1	36.8	21.1	13.2	5.3	100.0	17,273
	愛知県 (名古屋市を除く)	3.2	11.3	35.5	24.2	16.1	9.7	100.0	21,589
	岐阜県・三重県・静岡県	2.2	7.5	25.4	27.6	23.1	14.2	100.0	25,254
東海外	関 東	5.1	10.8	31.6	23.6	22.3	6.4	100.0	—
	近 畿	1.9	9.4	39.8	24.5	17.0	7.5	100.0	—
	北 陸	3.7	3.7	33.3	18.5	33.3	7.4	100.0	—
	甲信越	3.8	3.8	42.3	34.6	11.5	3.8	100.0	—
	その他	3.8	8.5	17.9	28.3	25.5	16.0	100.0	—
	全 体	3.4	9.6	30.2	25.3	21.4	10.1	100.0	24,223

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 42.4%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(19.3%)、「3,000～5,000 円未満」(14.9%)、「5,000 円以上」(11.5%)、「交通費はかからない」(10.4%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」では「1,000 円未満」が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多い。「甲信越」と「その他」では「5,000 円以上」も 2 割以上みられ、平均額は相対的に高い。

なお、市内交通費の平均額は 2,440 円であり、昨年度 (2,200 円) と比較して 240 円の増額となっている。

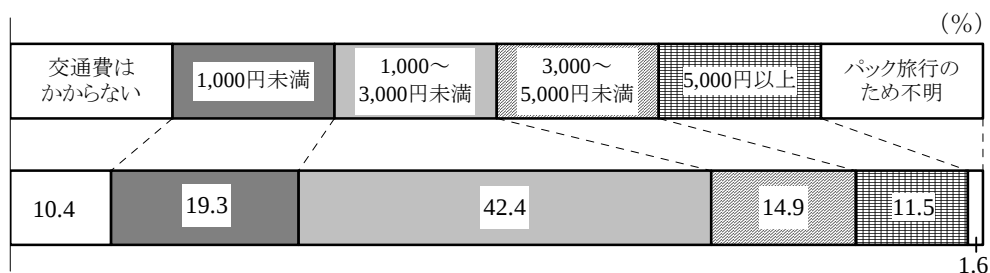


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合計	平均額(円)
地 域	東 海	9.3	25.2	45.0	14.0	5.4	1.2	100.0	2,014
	名古屋市	17.1	39.0	31.7	9.8	2.4	0.0	100.0	1,402
	愛知県(名古屋市を除く)	13.0	24.6	50.7	7.2	2.9	1.4	100.0	1,669
	岐阜県・三重県・静岡県	5.4	21.6	45.9	18.2	7.4	1.4	100.0	2,346
	関 東	12.1	20.0	45.3	12.6	9.5	0.5	100.0	2,233
近 畿	近 畿	10.9	26.6	48.4	9.4	4.7	0.0	100.0	1,828
	北 陸	9.7	19.4	45.2	19.4	6.5	0.0	100.0	2,258
	甲信越	7.1	10.7	39.3	17.9	25.0	0.0	100.0	3,429
	その他	11.9	4.2	31.4	19.5	28.0	5.1	100.0	3,714
	全 体	10.4	19.3	42.4	14.9	11.5	1.6	100.0	2,440

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 72.5%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.3%と最も多く、以下、「2,000 円未満」(18.3%)、「5,000～10,000 円未満」(13.2%)、「10,000 円以上」(8.3%)となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、地元の「名古屋市」(70.7%)や「愛知県(名古屋市を除く)」(43.5%)で多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は高い。

なお、土産代の平均額は 3,971 円である。昨年度と比較すると購入する割合(昨年度 72.0%)はほぼ同じ、平均額(同 3,718 円)は 253 円増額している。

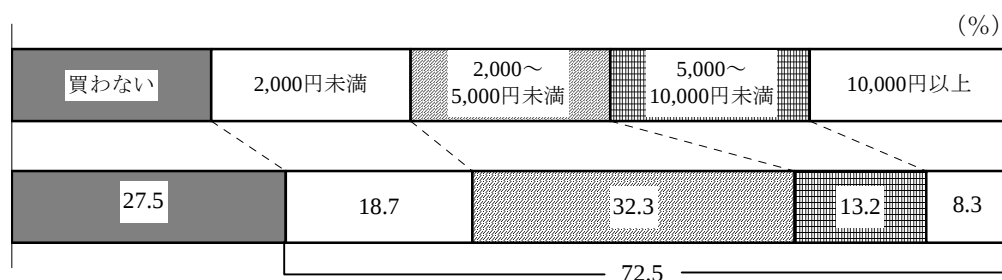


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代(居住地別)

(単位: %)

土産代		買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地 域								
東 海		42.0	15.3	29.0	8.8	5.0	100.0	2,819
	名古屋市	70.7	7.3	14.6	4.9	2.4	100.0	1,439
	愛知県（名古屋市を除く）	43.5	20.3	24.6	8.7	2.9	100.0	2,297
	岐阜県・三重県・静岡県	33.6	15.1	34.9	9.9	6.6	100.0	3,428
関 東		24.9	23.3	35.2	11.4	5.2	100.0	3,358
近 畿		27.7	18.5	35.4	10.8	7.7	100.0	3,769
北 陸		12.1	24.2	36.4	21.2	6.1	100.0	4,318
甲信越		16.7	30.0	36.7	10.0	6.7	100.0	3,667
その他		8.3	12.4	33.1	24.8	21.5	100.0	7,438
全 体		27.5	18.7	32.3	13.2	8.3	100.0	3,971

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」(31.7%)と「5,000～10,000 円未満」(30.4%)が多く、以下、「10,000～30,000 円未満」(18.0%)、「2,000 円未満」(14.9%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」と「その他」の地域からの宿泊客は 10,000 円以上がともに 3 割程度と比較的多く、平均額は相対的に高くなっている。

なお、食事代の平均額は 7,860 円であり、昨年度 (7,111 円) より 749 円増額している。

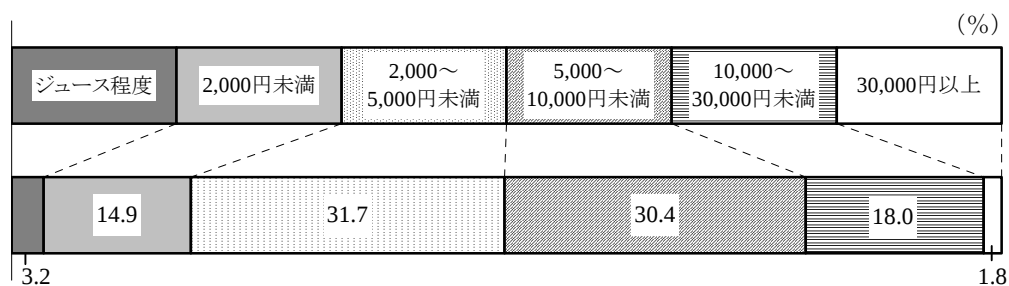


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

地 域	市内食事代	ジュース 程度	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		4.9	17.5	29.3	32.3	15.6	0.4	100.0	6,894
名古屋市		9.8	19.5	34.1	22.0	12.2	2.4	100.0	6,451
愛知県（名古屋市を除く）		7.2	26.1	24.6	31.9	10.1	0.0	100.0	5,543
岐阜県・三重県・静岡県		2.6	13.1	30.1	35.3	19.0	0.0	100.0	7,621
関 東		3.2	15.3	32.3	29.1	18.0	2.1	100.0	7,910
近 畿		3.2	12.7	38.1	38.1	7.9	0.0	100.0	5,905
北 陸		0.0	9.7	35.5	25.8	25.8	3.2	100.0	9,726
甲信越		0.0	13.3	43.3	20.0	20.0	3.3	100.0	8,483
その他		1.7	12.5	28.3	26.7	25.8	5.0	100.0	10,283
全 体		3.2	14.9	31.7	30.4	18.0	1.8	100.0	7,860

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 67.5%と最も多く、次いで「15,000～30,000 円未満」(18.0%)となっている。

どの地域においても「5,000～15,000 円未満」が最も多く、それぞれ 6 割以上を占めている。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 13,046 円であり、昨年度 (12,932 円) よりも 114 円増額している。

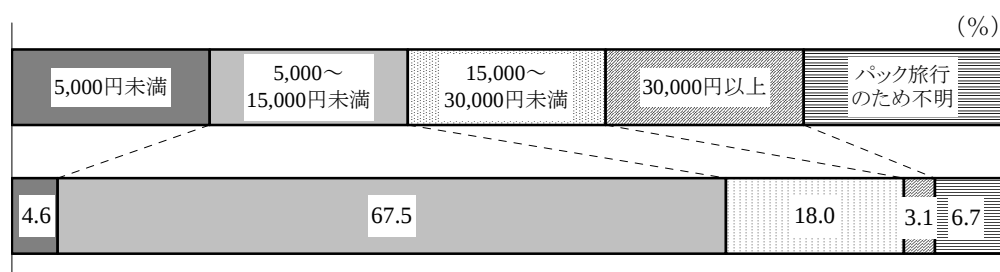


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代 (居住地別)

(単位: %)

地 域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	合 計	平均額 (円)
東 海		5.7	65.5	23.1	3.9	1.7	100.0	13,711
	名古屋市	6.1	69.7	12.1	9.1	3.0	100.0	13,906
	愛知県 (名古屋市を除く)	6.8	66.1	27.1	0.0	0.0	100.0	12,881
	岐阜県・三重県・静岡県	5.1	64.2	24.1	4.4	2.2	100.0	14,030
関 東		5.3	73.3	14.4	3.2	3.7	100.0	12,458
近 畿		9.7	66.1	19.4	1.6	3.2	100.0	12,250
北 陸		0.0	69.0	24.1	0.0	6.9	100.0	13,241
甲信越		3.3	76.7	16.7	3.3	0.0	100.0	12,833
その他		0.9	60.9	11.3	3.5	23.5	100.0	13,125
全 体		4.6	67.5	18.0	3.1	6.7	100.0	13,046

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市の宿泊客 722 人の来名回数としては、「10 回以上」という割合が 38.2%と最も多く、次いで「4～9 回目」（19.9%）となっていて、「はじめて」の割合は 15.8%である。

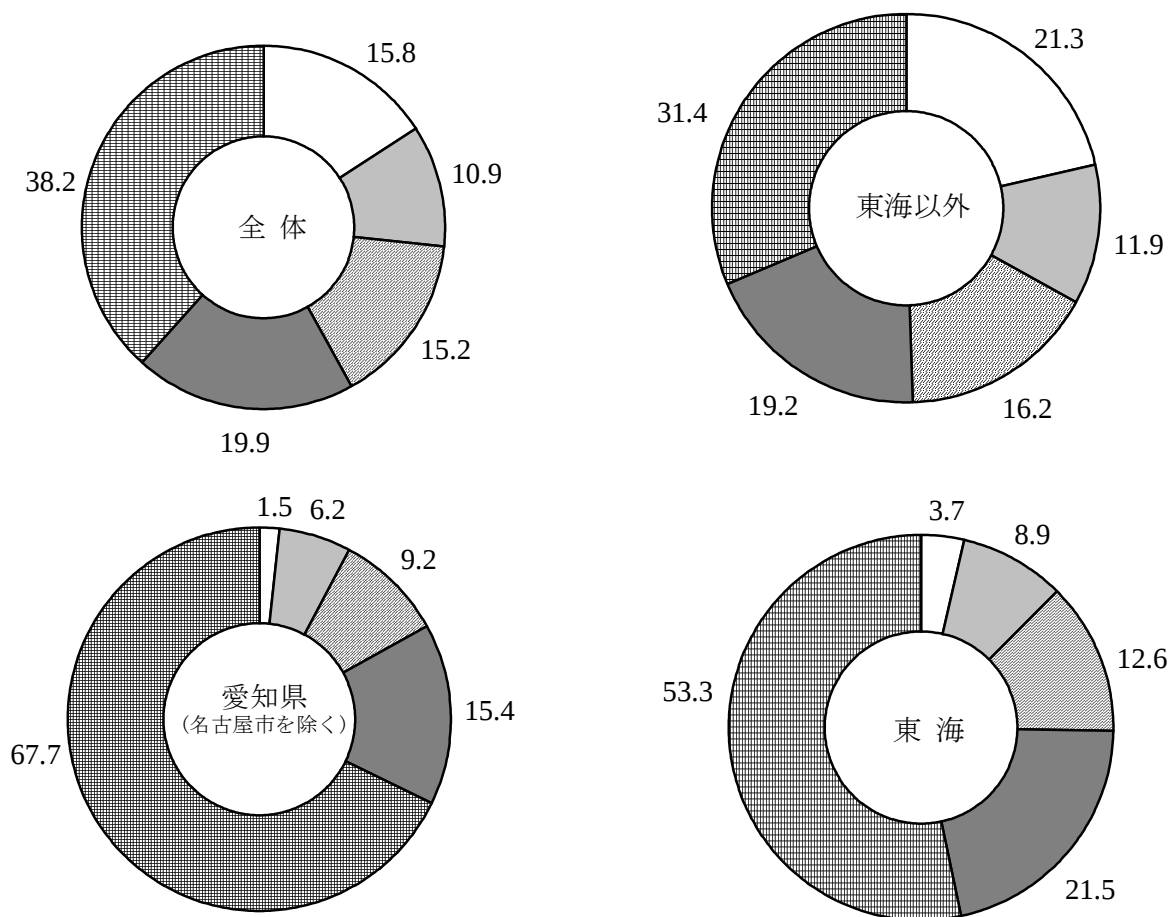
居住地別にみると、「東海」地域では「10 回以上」（53.3%）が過半数を占め、「はじめて」の割合は 4%以下であるが、「東海」地域外からの宿泊客では 21.3%が「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市内からの宿泊客の来名回数

（単位：％）

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		3.7	8.9	12.6	21.5	53.3	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		1.5	6.2	9.2	15.4	67.7	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		4.7	10.1	14.1	24.2	47.0	100.0
東海外		21.3	11.9	16.2	19.2	31.4	100.0
全 体		15.8	10.9	15.2	19.9	38.2	100.0

□ はじめて ■ 2 回目 ■ 3 回目 ■ 4～9 回目 ■ 10回以上



（単位：％）

図 2-2-11 名古屋市内からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が最も多く 60.8%を占めている。次いで「自家用車」(20.6%)、「名鉄電車」(13.5%)、「航空機」(10.8%)となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(44.4%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(58.7%)が最も多くなっている。

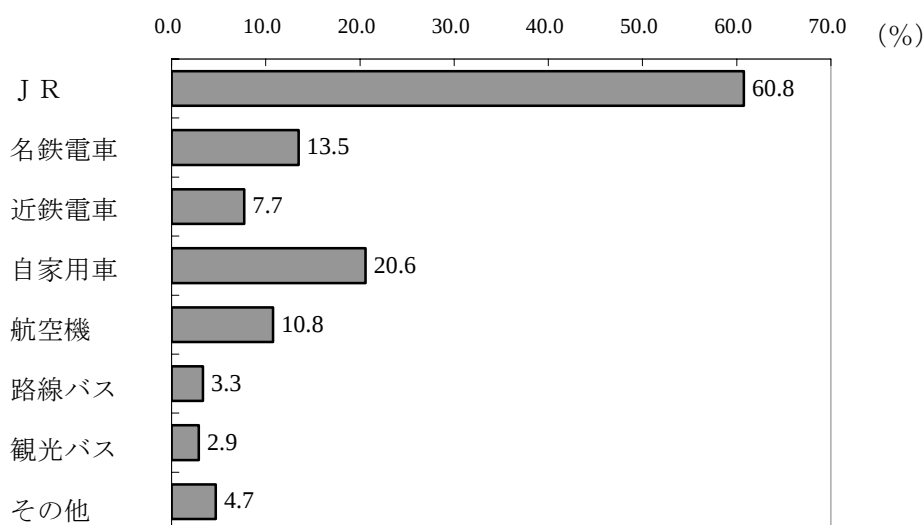
旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」(39.3%)をはじめ「家族」では「自家用車」の利用が比較的多くなっている。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

（単位：％）

地域・旅行形態		交通機関	J R	名鉄電車	近鉄電車	自家用車	航空機	路線バス	観光バス	その他	合計
地域	東 海		46.7	20.3	13.7	28.8	0.9	1.9	3.8	1.4	117.5
	愛知県（名古屋市を除く）		33.3	44.4	0.0	22.2	3.2	4.8	3.2	1.6	112.7
	岐阜県		66.7	11.9	0.0	33.3	0.0	0.0	4.8	2.4	119.0
	三重県		15.2	8.7	58.7	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	108.7
	静岡県		70.5	9.8	3.3	34.4	0.0	1.6	6.6	1.6	127.9
	東海外		67.7	10.0	5.0	16.8	15.5	4.1	2.5	6.1	127.7
旅行形態	ひとり		69.7	15.7	7.6	11.6	9.1	2.0	0.5	5.1	121.2
	友人・知人		58.7	13.9	11.5	19.2	5.8	3.8	3.8	3.8	120.7
	家族	幼児・小学生連れ	39.3	7.1	3.6	39.3	10.7	3.6	7.1	3.6	114.3
		夫婦	53.7	17.9	6.3	29.5	18.9	6.3	2.1	4.2	138.9
		その他	62.0	7.6	3.8	27.8	20.3	2.5	1.3	6.3	131.6
	団体旅行		46.2	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0	30.8	0.0	107.7
	その他		61.8	11.8	2.9	23.5	11.8	2.9	0.0	8.8	123.5
全 体			60.8	13.5	7.7	20.6	10.8	3.3	2.9	4.7	124.2

（複数回答）



（複数回答）

図 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客（722 人）のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答が 321 人（44.5%）あった。その方たちの訪問地としては「知多・常滑・セントレア」（39.6%）が最も多く、以下「明治村・犬山」（36.8%）、「伊勢・志摩」（34.3%）、「下呂・高山」（29.3%）、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（24.6%）、「豊田・岡崎・足助」（22.7%）、「岐阜・関ヶ原」（19.9%）、「豊橋・伊良湖」（18.1%）となっている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪 問 地	知多・常滑・セントレア	明治村・犬山	伊勢・志摩	下呂・高山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	岐阜・関ヶ原	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	その他
	39.6	36.8	34.3	29.3	24.6	22.7	19.9	18.1	14.0	12.8	10.6	9.0	8.4

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程が、「2 日」である割合は 70.2%と最も多く、次いで「3 日」が 21.8%、「4 日」が 4.6%、「5 日以上」が 3.5%となっている。

居住地別にみると、「東海」地域からの宿泊客では「2 日」である割合は 8 割を占めているが、「東海」地域外からの宿泊客では「3 日」以上の割合も 34.3%と比較的多い。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	80.4	16.4	3.2	0.0	100.0
東海外	65.7	24.3	5.0	5.0	100.0
全 体	70.2	21.8	4.6	3.5	100.0

⑧市内での宿泊日数

名古屋市内での宿泊日数は、「1泊（2日）」が73.1%と多く、「2泊（3日）」が20.2%、「3泊（4日）」が5.2%、「4泊以上」が1.5%となっている。

居住地別にみると、名古屋市内で「2泊」以上する割合は、「東海」地域からの宿泊客（18.8%）より「東海外」地域外からの宿泊客（31.1%）の方が多くなっている。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

（単位：％）

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		81.2	12.7	6.1	0.0	100.0
東海外		68.9	24.0	4.9	2.2	100.0
全 体		73.1	20.2	5.2	1.5	100.0

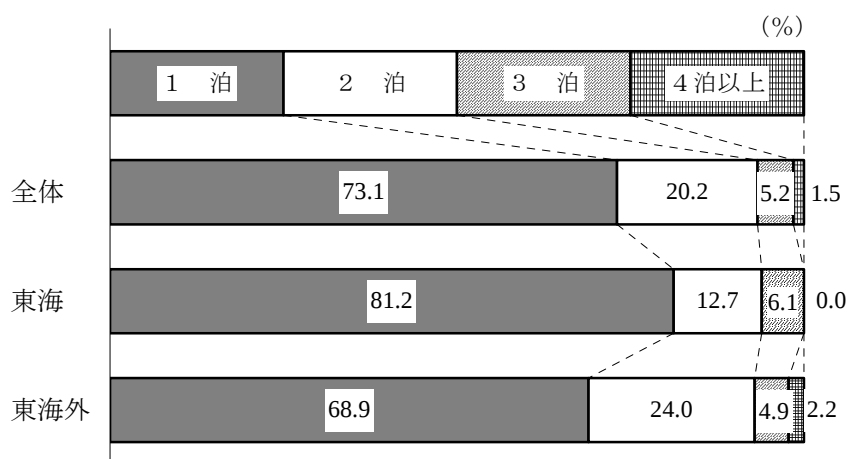


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数